

悩まなくてもだいじょうぶ

知っておきたい アレルギーの話

NPO法人アレルギーを考える母の会
代表 園部まり子



イラスト／清水直子

第34回

アレルギーではないのに…

「とりあえず除去」の指導は要注意！

食物アレルギーではないのに厳しい食物除去を強いられていたお子さんの事例を紹介しします。今は小学生になりましたが、離乳食を始めた頃、以前からあった湿疹が悪化したように感じ、助産院で紹介された、食物アレルギーで有名なクリニックを受診しました。そこでは血液検査で陰性（反応がない）であるにもかかわらず、「とりあえず米、牛乳、卵、小麦、大豆を除去」と指導され、受診のたびに除去品目が増えていきま

した。お米は特定の銘柄、肉は食用のカエル、シカ、ウサギを食べる、普通のお醤油も禁止されました。ところがいつまでたっても湿疹は良く

ならず、加えて「母乳を通してアレルギーの原因物質が子どもに入る」という理由でお母さんも同じ食物除去を強いられ、栄養不足でふらふらになってしまいました。

実はこの子は食物アレルギーではありませんでした。ある講演会をきっかけに専門医を受診したところ、湿疹はアトピー性皮膚炎の適切な治療を受けて1週間でツルツルの肌になり、禁止されていた食物もすべて食べられ、食べられないものは何もないことが分かりました。医師なのにこんな



そのべ・まり子 ● 神奈川県社会福祉協議会セルフヘルプ支援事業運営委員。困っている患者と専門医との橋渡しを第一に「治療ガイドライン」情報などの提供、専門医による講演会や会報発行、行政への働きかけを行なっている。共著に『食物アレルギーの手びき 改訂第2版』（南江堂刊）。

なはず、加えて「母乳を通してアレルギーの原因物質が子どもに入る」という理由でお母さんも同じ食物除去を強いられ、栄養不足でふらふらになってしまいました。実はこの子は食物アレルギーではありませんでした。ある講演会をきっかけに専門医を受診したところ、湿疹はアトピー性皮膚炎の適切な治療を受けて1週間でツルツルの肌になり、禁止されていた食物もすべて食べられ、食べられないものは何もないことが分かりました。医師なのにこんなことが分かりました。医師なのにこんな

講演会のお知らせ

アレルギーを考える母の会は9月22日(土・祝)、横浜で講演会「もしかして、これってアトピー？ 食物アレルギー？」を開催します。内容・申し込みなど詳細は「母の会」のHP <http://hahanokai.org/> をご覧ください。